

## 楽しかった林間学校・・・出会った生き物たち



今年も東大阪市支援研林間学校が生駒山麓公園ふれあいセンターで実施されました。6月16日から26日まで、一泊二日で5班に分かれて行いました。なにしろ梅雨の季節ですから、お天気が心配の種です。去年は雨の日もありましたが、今年はまずまずのお天気に恵まれ、楽しく予定の行程を行うことができました。

子どもたちは毎年楽しみにしていて、「卒業しても、また来たい」という声が出るほどです。実際、去年は高校生になった先輩が夜に来てくれました。同じブロックの子どもたちが寝食を共にするので、他の学校の子とも親しくすることができます。毎年見ていると成長がわかるというものです。中学1年生にとっては出身小学校の先生、先輩に会えるチャンスですから大張り切りです。

今年が生駒山で様々な生き物に出会ったことを報告します。まず、ケーブルカーに乗るために商店の間を通りますが、ツバメの巣がたくさんありました。じっと待って見ていると、ツバメが虫をくわえて飛んできました。ケーブルカーから降りると生駒登山です。そこでは都会では会えない生き物にたくさん出会えました。まず、道には葉っぱをクルクル巻いたものが落ちています。オトシブミという昆虫の作ったもので、中には卵が産みつけられています。足の長いクモ、枝と見間違うナナフシも見つけました。道でタマムシの美しい羽を拾い、生きていたタマムシを見たいと思いました。

ウグイスの鳴き声に励まされて、目的地のふれあいセンターに着きました。開会式まで、アスレチックで遊んだり、川でザリガリ釣りを楽しんだりしました。この川では夜になるとホタルが飛び交います。暗い中、足元に気をつけながら、応援に来た先生と一緒に光るホタルを見られたのは良い思い出となりました。

夜のレクリエーションでは「昆虫狩りにいこうよ」のゲームなどで子どもたちも先生もいっしょに楽しみました。ヘラクレスオオカブトはいないけれど、普通のカブトムシはたくさんいるでしょう。



朝のラジオ体操、閉会式を終えて解散となり、各校はそれぞれの取り組みのために別れて行きました。ふれあいセンターで木工教室（迷路作り・フォトフレーム）、アスレチック、レストランで食事、ドリーム21（プラネタリウム・見学）、そして海遊館へ。

海遊館では工夫された展示、迫力ある動物たちを見ることができました。ペンギンのエサやりタイムやサメやエイに触れるコーナーなど体験型の展示には引きつけられます。もっと見ていたいと思いながら学校に向かいました。また来年は何をしようかと楽しみにしています。

（ 文責 盾津東中学校 南元 史子 ）